

佐藤一斎記念館（仮称）基本情報への意見を募集

パブリックコメントの結果と市の考え方

【実施期間】令和6年7月30日（火）～8月30日（金）

【意見の提出状況】 3名3件

受付日	いただいたご意見（原文）	ご意見に対する市の考え方
令和6年7月30日	絵を展示できるスペースがあると嬉しいです。 よろしくお願いします。	専用の展示室を整備することは難しいと考えていますが、エントランスホールや通路壁面などを活用し、ギャラリーのように活用できるよう、整備面と運営面の両面から検討してまいります。 市民の皆さんが作品などを展示できるような、開放的な施設になるよう努めてまいります。
令和6年8月1日	利用料金に障がい者割引をお願いします。	現在、中山道広重美術館や中山道ひし屋資料館、岩村歴史資料館などの文化施設では、障がい者手帳をお持ちのご本人と付き添いの方1名の入館料（観覧料）を無料としています。 佐藤一斎記念館（仮称）においても、同等の割引となるよう考えています。
令和6年8月6日	私は恵那特別支援学校の学校評議員を以前、勤めていたこともあり特別支援学校が地域の中で、どのように暖かく見守られているかどうか住民との距離感など？心配なことが多く、見守っていました。 一般住民は、特別支援学校生が日頃、どのような学校生活をおくっている？ 皆目、わかりません。 そこで、佐藤一斎記念館の一室に特別支援学校の作品を展示したり、販売できるコーナーを設けませんか？ また、卒業生の作業場として喫茶店・お土産屋さんなどを経営する組織を公募しませんか？喫茶店ができそうな部屋は、ありますか？ 旧宿直室など？どうでしょうか？ また、岩邑小学校の生徒さんたちの絵などの作品をスタディールームなどで展示できると最高です！	今回、旧岩村振興事務所を「まなぶ」拠点施設として整備してまいります。恵那特別支援学校や市内小中学校の児童生徒の学びの成果発表の場として、作品展示を行うとのことご提案は、施設の目的にも合い、大変有意義と考えます。 専用の展示室を整備することは難しいと考えていますが、エントランスホールや通路壁面などを活用し、作品展示ができるスペースを設けたいと考えています。 市内の先人の展示紹介や、児童生徒の作品展示、市民団体等の作品や活動紹介など、「まなぶ」に関する催しを企画実施してまいりたいと考えています。 この施設は観光客の誘客にも応え、岩村城下町に人の流れを呼び、城下町内での買い物や飲食を促す考えから、施設内に喫茶店や土産店を誘致し営業を行っていたくことは考えていませんので、ご理解ください。